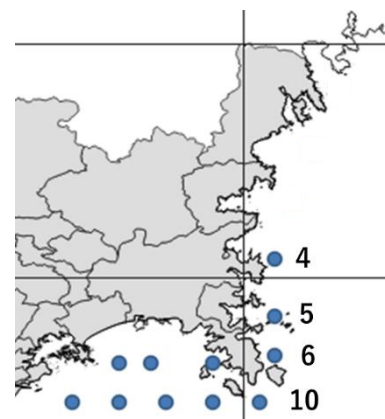


## 平成 30 年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 1)

- 1 調査月日 平成 30 年 5 月 30 日
- 2 調査地点 右図の 4 定点
- 3 概 要 (詳細は下表のとおり)
  - 1) 水 温 : 表層で 14.7~18.3℃の範囲にあった。
  - 2) 塩 分 : 表層で 31.1~32.6 の範囲にあった。
  - 3) 貝毒原因プランクトン出現数



- ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.)  
出現数は、20~290 細胞数/L でした。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis. acuminata*) は、  
70~340 細胞数/L、*D. fortii* は 30~90 細胞数/L 確認されました。

調査地点図

### 調査結果表(4 定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水 温 (℃)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
						5月30日		5月30日		5月30日		
4	11:04 83.0	0	4.0	14.7	32.4	290	-	80	-	340	-	0
		10		12.3	33.6							
		20		10.0	33.6							
		30		9.9	33.7							
		40		9.9	33.7							
5	10:20 31.0	0	4.0	15.7	31.1	180	-	90	-	180	-	0
		10		11.6	33.5							
		20		10.6	33.6							
		30		10.0	33.6							
		40		10.0	33.6							
6	9:47 66.0	0	4.0	15.2	32.2	120	-	30	-	70	-	0
		10		12.5	33.5							
		20		10.8	33.7							
		30		10.3	33.7							
		40		10.3	33.8							
10	9:06 83.0	0	6.0	18.3	32.6	20	-	60	-	70	-	0
		10		13.3	33.6							
		20		11.9	33.8							
		30		11.3	33.9							
		40		10.7	33.8							

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水